

休日の学校部活動の地域移行【1】について

令和5年2月24日 健康教育課

休日の部活動の段階的な地域移行 ～地域の中で部活動を構築(学校と地域が協働・融合)し、持続可能なスポーツ環境を目指す～
 令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、様々な課題に総合的に取り組むために、地域の状況に応じて柔軟な体制作りが進められるように支援することで、休日の地域部活動の県内展開につなげる。

地域移行のねらい	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
<p>○未来のふくしまっ子のため、持続可能な運営体制を学校と地域が協働・融合し、望ましいスポーツ環境を構築する。</p> <p>○少子化が進展する中、運動部活動においては、従前と同様の運営体制での維持は難しくなっており、学校や教師だけでは解決できない課題となっている。</p> <p>○本県の現状を踏まえると学校において働き方改革が求められる中、運動部活動が教師の長時間勤務の要因の一つとなっており、早急な改革が急務となっている。</p>	<p>◇モデル地区による実践研究</p> <p>地域部活動・合同部活動推進の実践研究(保護者の費用負担、自治体減免措置等、国による支援方策の検討)</p>	<p>◇会津若松市(6校 剣道)</p> <p>◇会津若松市(総合型地域スポーツクラブ)</p> <p>モデル地区の事例研究・検証、情報発信</p> <p>○合同部活動によるスポーツ活動機会の確保 ○教員の働き方改革の推進 ○地域の「新たなスポーツ環境の整備」の推進</p>	<p>改革推進期間</p> <p>部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備(団体等の整備充実、指導者確保、費用負担への支援)</p>		<p>休日の部活動</p>	<p>地域スポーツ・文化クラブ活動へ</p> <p>移行できない市町村へ支援の継続</p>
	<p>部活動改革検討委員会【兼:部活動の地域移行に関する協議会(R5～)】 (部活動の適正化に向けた提言、地域移行と地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境整備の検証・考察)</p>	<p>モデル地区</p> <p>◇会津若松市(6校 剣道)</p>	<p>モデル地区</p> <p>◇会津若松市(総合型地域スポーツクラブ)</p>	<p>○市町村への情報提供と課題把握 ○部活動指導員の配置・拡充 ○地域移行ガイドラインの改定 ○モデル地区の事例研究・検証、情報発信(成果の共有)</p>	<p>○説明会・シンポジウムの開催 ○部活動ガイドラインの改定 ○関係団体との情報共有</p>	<p>新たなスポーツ環境の整備(文化スポーツ局と連携)</p> <p>・多様な実施主体への支援 ・指導者の確保と質の向上 ・施設の整備充実</p>
<p>文部科学省 スポーツ庁 委託 福島県 連携・支援 市町村(地域)</p>	<p>連携・支援</p>	<p>地域移行説明会の実施(参加者:市町村担当) ○モデル地区の成果の共有</p>	<p>取組① 地域移行に向けた「検討組織」の設置・機能 取組② 「検討組織」による工程表作成と実行</p>	<p>取組③ 予算措置の検討(保護者負担も含む) 取組④ 運営団体・人材の調査・確保、団体や学校との連絡調整</p>	<p>取組⑤ 地域・保護者への説明・理解</p>	<p>市町村の実態に応じて進める</p>
			<p>「部活動」と「地域スポーツ・文化クラブ」の融合</p>			

生徒にとって望ましい持続可能な文化スポーツ活動と学校の働き方改革の両立を実現